令和７年度　学校努力点推進計画

令和７年４月１日
老松小学校　努力点企画委員会

１　研究テーマ　　自ら学びを進める児童の育成
～　ゆるやかな協働性の中で　～

２　研究のねらい

令和６年度は、児童が自らの学びを振り返り、その過程で抱いた興味・関心に沿って学習を選択できる時間を設定して、学習内容や方法、ペースを自分で決定できる機会を設けた。また、学習に対する振り返りを十分に行わせることで、自分の学びに見通しをもち、次の学びへの意欲を高められるようにしてきた。今年度は、児童の実態に応じて振り返りの方法を工夫したり、児童が自分で選択や決定できる活動を設定したりしながら、児童が自らの学びを進められるようにする。

３　研究組織図

校長	教頭	努力点企画委員会	努力点推進委員会	努力点全体会
		校長、教頭、主幹、教務、校務、推進委員長、推進副委員長	校長、教頭、主幹、教務、校務、推進委員長、推進副委員長、学年主任	全職員

低学年	中学年	高学年
１年	３年	５年
２年	４年	６年
森川	たんぽぽ	すみれ
東野	尾﨑	内藤
	藤井	小川

○　企画委員会　・　研究の方向性を決め、随時、進捗状況を把握し、研究を前進させる。

○　推進委員会　・　企画委員会の提案を受け、努力点の進め方について討議し、研究の進捗状況について情報交換する。

○　全　体　会　・　研究の方法についての共通理解を図る。
・　成果と課題点について発表し合い、情報交換をする。

○　低・中・高学年部会　・　努力点の手立てについて話し合い計画を作成する。
・　具体的な実践研究をする。
・　公開授業の事前・事後検討、準備、当日のＴＴを行う。

４　年間計画

月	実践の内容	月	実践の内容
4	４日　職員会議での提案 （研究組織の編成・基本構想の確認） 14日　努力点部会 （部会での方向性決定） 28 日　部会（実践の計画）	10	※　後期実践
5	※　各部会で実践準備	11	※ 各部会で実践経過の確認
6	※　各部会で実践準備 ※　人権に関する実践（～７月）	12	※ 努力点報告書作成
7	※　各部会で実践準備	1	※　努力点報告書作成
8	※　教材研究、実践の計画 **26日　部会（実践概要と計画）**	2	12日　努力点報告会
9	※　１８日　全体授業事前検討会 ２５日　全体授業・事後検討会	3	12日　努力点企画委員会 （次年度の計画）